

※解禁日時：6月20日（木）PM6:00

建設業界の新市場（ブルーオーシャン）を切り拓け！

最初に挑む建造物は、マジンガーZ……ではなく、その格納庫！？
実話を基にした、ファンタジーの世界に飛び込んだサラリーマン達による青春グラフィティ

『前田建設ファンタジー営業部』

映画化決定！

高杉真宙（『映画 賭ケグルイ』『ギャングス』など）主演！

アニメ、ゲームなどファンタジー世界の建造物を“実際に作ったらどうなるか”を
ド真面目に検証したブログが、まさかの実写映画化！！

お世話になっております。

この度、2003年よりウェブ連載されている「前田建設ファンタジー営業部」を主演・高杉真宙、脚本・上田誠、監督・英勉で映画化することが決定いたしました。映画化発表に伴い、主演・高杉真宙、脚本・上田誠、監督・英勉からのコメントが届いておりますので、ご紹介頂けますようお願い致します。

「前田建設ファンタジー営業部」とは、実在する企業・前田建設工業株式会社が、アニメやゲームの世界に存在する、特徴ある空想上の構造物・建造物の建設を“本当に受注し、技術の粋を集約し実現するとしたらどうなるか？”という、誰もが子供の頃に思いを馳せた“ファンタジーの世界を現実に再現したい！”という企画を、工期・工費を含め正確に検証するウェブコンテンツ。連載が開始した2003年2月、バブル崩壊を経て国からの新規発注がなくなり、経費削減にあえぐ民間企業からの発注にも苦勞し、建設業界は先行き不安を抱えていた。そんな中で「新市場（ブルーオーシャン）」としてファンタジーの世界を見出した？！前田建設の試みは、まず「マジンガーZ」の地下格納庫兼プール建設の検証から始まった。2004年に幻冬舎より書籍化、2012年に文庫化され、その後もシリーズとして「銀河鉄道999」高架橋編、「機動戦士ガンダム」地球連邦軍ジャブローを創ろう編が発表される等、建設業界内外でも話題の取り組みとして知られていた。



映画『前田建設ファンタジー営業部』の舞台は2003年、バブル崩壊後の建設業界。ある日、アニメ「マジンガーZ」の出撃シーンで目にする地下格納庫兼プールを、“現状の技術および材料で建設するとしたらどうなるのか？”マジンガーZが格納されている光子力研究所の所長・弓教授から発注を受けた。……というテイで検証するウェブ連載をしよう！と、広報グループ長が提案する。広報グループの若手社員、土井航（24）は、いやいやながらプロジェクトに携わっていくうち、社内外の技術者たちの熱意、架空のものに対してどこまでも真剣に向き合う姿を目の当たりにして、“意味のないこと”だと思っていた業務に本気で取り組んでゆく。一見すると“意味のないこと”に七転八倒しながら、本気で取り組んだサラリーマンたちの姿を描いた本作は、まさに“積算エンターテイメント”!!（※積算＝工事などの費用を見積もること）お金にならないと意味がないのか？意味のないことに情熱を注ぐのは、バカげているのか？？現実とファンタジーの垣根を越えた先に、待ち受ける未来は！？

主演は大ヒット上映中の『映画 賭ケグルイ』、『ギャングス』などで活躍が続く若手実力派の高杉真宙。ファンタジー世界からの受注という奇想天外な企画を立案した破天荒な上司を、冷静かつドライに眺めながらも、徐々に周囲の熱量に影響されてゆく若手サラリーマンを演じます。

脚本はTVアニメ「四畳半神話大系」をはじめとし、2013年春に本作の舞台化を果たし、2017年「来てけつかるべき新世界」で第61回岸田國士戯曲賞を受賞したヨーロッパ企画代表・上田誠が担当。その脚本を元に、夢中になって仕事に取り組むサラリーマンたちの姿を愛ある目線で描き出すのは、『映画 賭ケグルイ』、『あさひなぐ』、『ヒロイン失格』など数々のヒット作を生み出してきた英勉監督。

本作の公開は2020年を予定しております。どうぞご期待下さい。

<作品情報>

- 原作：「前田建設ファンタジー営業部 1 マジンガーZ地下格納庫編」（幻冬舎文庫 刊）
- 脚本：上田誠（ヨーロッパ企画）
- 監督：英勉
- 出演：高杉真宙
- 制作：ADKクリエイティブ・ワン/パイプライン
- 配給：バンダイナムコアーツ/東京テアトル
- ©前田建設工業株式会社/Team F ©ダイナミック企画・東映アニメーション



2020年全国公開

■宣伝お問い合わせ：（株）バンダイナムコアーツ 映像プロデュース本部
パブリシティチーム 03-6837-2625 senden@bnarts.jp

『マジンガーZ』について

『マジンガーZ』の原作は、1972年に漫画家・永井豪が「週刊少年ジャンプ」にて連載を開始した搭乗型巨大ロボットの祖となる漫画作品。多彩な武器と圧倒的な強さを誇る“マジンガーZ”の迫力と存在感、主人公・兜甲児をはじめとする個性的なキャラクターなど永井豪の魅力が詰まっており、連載開始後、爆発的な人気を博した。

TVアニメは1972年12月～1974年9月まで全92話が放送され、最高視聴率は“30.4%”という驚異的な数字を記録。今なお熱狂的なファンが多く存在し、国内のみならずアジアをはじめとしたヨーロッパ、南米など各地で愛される作品。

■高杉真宙 コメント

マジンガーZ、ではないその格納庫を作る為に皆が奮闘する話。そんな、なかなかないお話がまずは単純に面白い！と思いました。周りの皆さんはかなり濃いのでそこに巻き込まれながら自分は自分のキャラクターをブレさせないように。と演じていきましたが、特にファンタジー営業部のメンバーの皆さんは強烈で毎日の撮影が戦いだった気がします笑

すごくちぐはぐで撮影している時は映画っぽくないなあ。どんな作品になるのか今までで一番予想つかないなあ。と思っていたんですけど確実に素敵な作品になっていると思います。夢を見させてくれる、思い出させてくれる映画なんじゃないかなあと思うので、沢山の方に観ていただきたいです。

■上田誠 コメント

世の中にニッチな映画は数あれど、マジンガーZの格納庫を建設する、しかもWEB上で、ということを描いた映画はちょっとすごいな、と思っています。原作はそしてお堅いゼネコンなイメージの前田建設さんで、その持ち前の誠実さと技術の確かさと意欲とで、そこところが執拗に丹念に描かれています。なのでこの映画でもそれをしたつもりです。ファンタジー営業部の「本当」がそこにあると思ったから。本当がひとつあれば強くて、あとはのびやかに書きました。知略あり甘酸っぱさあり妄想ありダムへの詩情ありの、青春を過ぎた青春映画です。

■英勉監督 コメント

これは夢のお話だと思っています。大人の夢、子供の夢、仕事への夢、マジンガーZへの夢。観て頂く皆さんにも、いろんな夢がご自分の近くにもあるんだと思ってもらえれば幸いです。色々タダでは済まさない仕掛けを用意してます。が、お手柔らかにお願いします。

2020年全国公開

■宣伝お問い合わせ：(株)バンダイナムコアーツ 映像プロデュース本部
パブリシティチーム 03-6837-2625 senden@bnarts.jp